

産業廃棄物処理業

経営塾

令和4年度（第18期生）募集要項

Dream

Pride

自分の使命に、
夢と誇りを。

Mission



公益財団法人 産業廃棄物処理事業振興財団

開塾のごあいさつ

産業廃棄物処理業経営塾 塾長
岡山大学 名誉教授

田中 勝



2004年から毎年開塾していた産業廃棄物処理業経営塾が、新型コロナウイルスの影響を受け、2020年度は開塾出来ませんでした。2021年度はリモートを活用して開塾出来ました。世界の感染者は2022年1月時点で3億人を超え、1日当たり約300万人ずつ増えています。死者は累積で約550万人です。日本でも新型コロナウイルスの変異型「オミクロン株」の急増もあり、爆発的な増加が懸念されています。今年度は感染防止対策を徹底した対面講義を原則とし、オンラインの講義を一部併用で開塾します。廃棄物処理は、私たちの生活や事業活動には必要不可欠なエッセンシャルワークです。世界の廃棄物処理は、未だ低いレベルの処理しかされていないところが多いのです。衛生状態を良くし、公衆衛生のレベルを高め、伝染病や感染ウイルスの無い生活環境の保全に貢献する廃棄物の適正処理が必要なのです。

経営塾では産業廃棄物処理業界に、『社会の潮流を読み、将来の実行可能な事業企画案を書き、企業の成長戦略』という読み、書き、そろばんが出来る人材を育てることが出来ればと願っています。「読む」という意味には、日本語や外国語で読めるということもありますが、発言する力も重要です。次に「書く」ですが、企業の将来ビジョンを描き、それを達成するシナリオを「書く」ことが経営者にとっては重要です。「そろばん」は、多くの選択肢から何を選択すれば企業の成長になるかを判断する能力です。経済的な側面だけでなく、社会の信頼を確保するための判断が出来ることです。重要になってきたと思われます。このように人間力を高める「読み、書き、そろばん」の能力を高めていただきたいと思います。

国連は、持続可能な開発目標SDGsを掲げて、世界の国々や企業、個人に取り組みを求めています。皆の努力で世界は平和な社会、豊かな社会になるでしょう。その結果、世界の人口は増加し経済成長とともに、人々の購買力は向上し、社会でより多くのモノが生産・消費され、廃棄物の増加が見込まれます。廃棄物工学研究所の推計予測では、世界の廃棄物排出量は2020年には140億トン/年が2050年には320億トン/年となりました。これらが廃棄物処理業界により回収され、リサイクルや処理処分がされます。一方、限られた資源や、環境容量を持っている地球の存続のために、私たちの豊かな生活を維持しながら、資源を大切に、環境を大切に社会、すなわち循環型社会の構築が求められており、それには廃棄物分野の高い技術やノウハウを活かした戦略的なマネジメントが求められています。

廃棄物処理業界におられる皆さんは、世界に求められているこのような循環型社会の構築に貢献することが出来るのです。皆さんには、このように重要な廃棄物処理業界で活躍できることを誇り(Pride)に思い、欧米の企業に負けない一流の企業に成長することを夢(Dream)見て、又廃棄物処理は私たちの責任でやり遂げるという使命感(Mission)を持ってもらいたいと思います。この誇り、夢、使命感のPDMを大切にしてください。PDMを常に心に抱けるように経営塾で学んで欲しいと思います。

産業廃棄物処理業経営塾について

塾長

岡山大学 名誉教授

田中 勝

副塾長

(公社)全国産業資源循環連合会 専務理事

森谷 賢

(一社)日本経済団体連合会 環境エネルギー本部長

長谷川 雅巳

(公財)産業廃棄物処理事業振興財団 専務理事

岩田 元一

事務局

名 称 公益財団法人産業廃棄物処理事業振興財団

設 立 平成4年12月3日 財団法人産業廃棄物処理事業振興財団
平成24年4月1日 公益財団法人産業廃棄物処理事業振興財団
(公益財団法人移行認定)

指 定 産業廃棄物の処理に係る特定施設の整備の促進に関する法律第16条に基づく厚生大臣指定法人(平成4年12月24日:厚生省収生衛第1073号)、廃棄物の処理及び清掃に関する法律第13条の12に基づく産業廃棄物適正処理推進センターとしての厚生大臣指定法人(平成10年7月1日:厚生省収生衛第879号)

「産業廃棄物処理業経営塾」に入塾すると…

1 各分野の専門家による実践的なカリキュラムを提供

第18期 日程及びカリキュラム

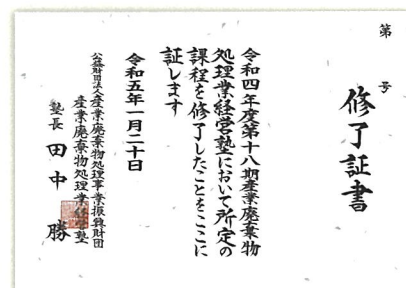
開催日	時間	カリキュラム
6/15 (水)	開塾式 14:00～ 開塾講義 15:00～17:30	産業廃棄物処理事業概論
6/24 (金)	1限目 10:30～11:50 2限目 12:50～14:10 3限目 14:40～16:00	労働安全・人材活用① 産業廃棄物にかかる法制度・行政① 意見交換会 他
7/14 (木)-15 (金)	14日 11:00 集合 15日 17:00 解散	夏季合宿研修
8/5 (金)	1限目 10:30～11:50 2限目 12:50～14:10 3限目 14:40～16:00	産業界・排出事業者① コンプライアンス① 産業廃棄物技術①
8/26 (金)	1限目 10:30～11:50 2限目 12:50～14:10 3限目 14:40～16:00	経営者に期待すること① 産業界・排出事業者② 財務・金融①
9/9 (金)	1限目 10:30～11:50 2限目 12:50～14:10 3限目 14:40～16:00	産業廃棄物処理業① 産業廃棄物技術② 産業界・排出事業者③
9/22 (木)	1限目 10:30～11:50 2限目 12:50～14:10 3限目 14:40～16:00	コンプライアンス② 財務・金融② 産業廃棄物処理業②
10/14 (金)	1限目 10:30～11:50 2限目 12:50～14:10 3限目 14:40～16:00	産業廃棄物技術③ 経営者に期待すること② コンプライアンス③
10/27 (木)-28 (金)	27日 12:00 集合 28日 17:00 解散	秋季合宿研修
11/17 (木)	1限目 10:30～11:50 2限目 12:50～14:10 3限目 14:40～16:00	財務・金融③ 産業廃棄物処理業③ 労働安全・人材活用②
11/18 (金)	9:00～17:30	施設見学(東京スーパーエコタウン)
12/8 (木)	10:30～16:20	AI・IoT
12/9 (金)	1限目 10:30～11:50 2限目 12:50～14:10 3限目 14:40～16:00	産業廃棄物にかかる法制度・行政② 労働安全・人材活用③ 経営者に期待すること③
	卒塾レポート提出	卒塾面談
1/20 (金)	15:30～17:00	卒塾式

*都合により、カリキュラムの日程の入れ替えや講師を変更する場合がございます。

2 「修了証書」を授与

卒塾生には、「産業廃棄物処理業経営塾」修了証書を授与いたします。この修了証書が、優良な経営責任者として評価され、施設建設や事業運営に際しての信用力としても活用されています。

また、その信用力を担保するため、入塾資格を厳しく審査すると共に、個別に卒塾面談を行い、卒塾生の資質を高めるよう配慮しています。



*修了証書は見本です。

3 「経営塾OB会ホームページ」による塾生同士の交流活性化ならびにネットワークの強化

希望者は卒塾後に経営塾OB会に入会できます。OB会ホームページでは、以下の内容で情報発信を行っています。

- OB会に関する最新情報、OB会員向けのニュースや関連情報を適宜掲載
- OB会が主催するイベント情報の告知ならびに出欠申込
- OB会全体・部会・各ブロックの活動報告
- OB会参加企業のインタビュー記事を掲載



6/15 (水)

開塾式: 14:00
開塾講義: 15:00~17:30

産業廃棄物処理事業概論

最初の講義として、経営塾の講義概要、産業廃棄物処理業の展開状況や制度・国際的な動向を鳥瞰すると共に、産業廃棄物処理の経営・優良処理業者育成などの今日的潮流を講義。

担当講師 田中 勝 塾長/岡山大学 名誉教授

64年京都大学卒業。70年米国ノースウェスタン大学大学院修了。同年米国ミシガン州立ウェインステイト大学助教授、76年厚生省に入省、92年国立公衆衛生院廃棄物工学部長、00年岡山大学環境理工学部教授、08年公立鳥取環境大学サステナビリティ研究所長等を歴任。07年(株)廃棄物工学研究所を設立、現在代表取締役。アジア・太平洋廃棄物専門家会議(SWA-PI)代表、有害・医療廃棄物研究会会長を務める。



担当講師 森谷 賢 副塾長

(公社)全国産業資源循環連合会 専務理事

52年函館市生まれ。77年環境庁入庁(01年から環境省)。01年より環境影響審査室長、産業廃棄物課長、水大気総務課長を務める。08年より大臣官房審議官、環境大臣補佐官として、気候変動枠組条約の国際交渉などにあたる。11年より関東地方環境事務所長を兼務しながら福島除染推進チームのリーダーを務める。13年から現職。



担当講師 長谷川 雅巳 副塾長

(一社)日本経済団体連合会 環境エネルギー本部長

69年三重県生まれ。92年経団連入局。以後、対米欧経済関係、GATT等の担当を経て、消費者契約法、議員立法による商法改正、独禁法等を担当。米国留学、内閣府独禁法基本問題検討室出向等を経て、07年から16年3月まで、気候変動、震災後のエネルギー問題、循環型社会形成等を担当。その後、消費者法、会社法、独禁法、金融資本市場、Society 5.0 for SDGsに関する東大・GPIFとの共同研究を経て、20年より現職。



担当講師 岩田 元一 副塾長

(公財)産業廃棄物処理事業振興財団 専務理事

79年~14年環境庁/環境省(地下水・土壌環境室長、大気環境課長等)。この間、千葉県、水産庁、公害等調整委員会事務局、国立環境研究所、環境再生保全機構、日本環境安全事業(株)、インドネシア国環境管理庁(JICA専門家)等に出向・派遣。14年6月~19年6月(公財)廃棄物・3R研究財団。19年6月から現職。

6/24 (金)

1限目 10:30~11:50
2限目 12:50~14:10
3限目 14:40~16:00

1 限目講義

労働安全・人材活用①



労働安全についての概要

前段で、産廃処理業に関する労働安全の注意点と、他業種での事故事例を中心に労災事故防止について。後段で、最近とみに増加している社員の精神衛生についての管理と対処法について講義。

担当講師 市川 博昭 NTS総合社会保険労務士法人 代表社員

青山学院大学法学部卒業。90年都市銀行入行。98年JASDAQ総合商社 総務部転職。00年社会保険労務士合格、翌年開業。07年特定社会保険労務士登録。16年当社代表、現在に至る。社会保険労務士法人 人事サポートセンター(前身)代表社員、(株)人事サポートセンター(コンサル部門 関連会社)取締役。



2 限目講義

産業廃棄物にかかる法制度・行政①

地方における廃棄物行政

一層信頼される処理業者を目指して、現場の事例を踏まえたコンプライアンスに関する講義。

担当講師 是永 剛 長野県 諏訪地域振興局環境課長

91年長野県職員拝命。県庁、出先機関において産業廃棄物の許認可、監視指導業務を中心に環境行政に携わる。19年長野県諏訪地域振興局環境課で環境行政全般を担当。出版など：「簡単ガイド廃棄物処理法直近改正早わかり」(06年日本環境衛生センター執筆協力)、「廃棄物処理法いつ出来た？この制度」(08年日本環境衛生センター共同執筆)、「ここまでわかる！廃棄物処理法問題集」(10年産業環境管理協会 共同執筆)。委員など：04年～環境省環境調査研修所「産業廃棄物アカデミー」講師。03～07年環境省「今後の産業廃棄物行政のありかた研究会」委員。14年信州大学非常勤講師。

3 限目講義

意見交換会 他

7/14(木)15(金)

14日:11:00集合
15日:17:00解散



夏季合宿研修【ホテル プラザオーサカ(大阪)】

①塾生企業の紹介

②合宿研修【中長期ビジョンの策定と経営戦略の立案】

規制業界ならではの視点に注目しながら、経営の重要資源である「ヒト・モノ・カネ・情報」を計画的に扱い、安定した経営を実現させる標準的手順を講義。単なる講義だけでなく、グループでディスカッションを交えながら実践に活用できるよう学習を深めていく。テキストには『中期経営計画の立て方・使い方』を使用する。要事前学習。

担当講師 中尾 光宏 パスファインダー・コンサルティング 代表

89年北海道拓殖銀行入行。97年からゲーム会社の人事・採用、ゲームベンチャーの創業、上場IT企業のCFOなど経営管理業務全般に従業。08年の独立後からは買収先企業やIPO準備企業などの管理系構築を常勤で支援。研修では管理職育成や経営計画立案などを中心に手掛ける。神戸大学大学院経営学研究科修了。同志社大学、帝塚山学院大学、国立明石高専専攻科非常勤講師を歴任。

8/5(金)

1限目 10:30～11:50
2限目 12:50～14:10
3限目 14:40～16:00



1 限目講義

産業界・排出事業者①

キヤノンの環境の取り組みと資源循環

キヤノンの環境目標、方針について説明するとともに、資源循環への取り組み、また、事業拠点における廃棄物処理に関する考え方ならびに管理について講義。

担当講師 古田 清人 キヤノン(株) サステナビリティ推進本部 理事顧問

82年キヤノン(株)入社。99年生産本部 環境統括技術センター環境企画課長、02年グローバル環境推進本部 環境統括技術センター環境企画部部長、07年環境本部 環境企画センター所長、13年環境統括センター所長、21年11月より、サステナビリティ推進本部理事顧問。01年グリーン調達調査共通化協議会(JGPSSI)議長。欧米の工業会とJIG(Joint Industry Guide)を発行。並行してIEC TC111日本エキスパートを務め、IEC62474規格ならびにIEC63000など環境関連の規格発行に係わる。現在、IEC TC111ならびにMT/VT62474のエキスパートならびに国内委員会主査。その他、環境省(エコアクション21など)の委員を務める。



2 限目講義 コンプライアンス①

リスクマネジメント

廃棄物処理業の鍵となる信頼確保のため、契約書及びマニフェストの管理の注意点、他法令を含めたコンプライアンスの課題と対応、顧客及び住民等からのクレームを受けた場合の対応、行政指導、立入検査への対応等のリスク管理について、事例を参考に講義。

担当講師 佐藤 泉 佐藤泉法律事務所 弁護士

第一東京弁護士会所属。主な業務：環境問題、特に廃棄物処理法及び土壌汚染対策法その他の環境関連法についての、紛争解決及び法律相談。第一東京弁護士会：環境保全対策委員会委員、東京都廃棄物審議会委員、経済産業省産業構造審議会臨時委員。



3 限目講義 産業廃棄物技術①

産業廃棄物処理技術〈最終処分〉

産業廃棄物処理技術のわが国の第一人者である講師から、最新の最終処分技術とその動向、最終処分の視点から処理事業経営者として踏まえておくべき事項を講義。

担当講師 樋口 壮太郎 福岡大学 名誉教授

72年福岡大学工学部土木工学科卒業。同年日本技術開発(株)入社。97年九州大学大学院博士後期課程修了。01年福岡大学工学部教授着任。02年より19年まで同大学大学院工学研究科資源循環・環境工学専攻、地域環境専修教授兼任、資源循環・環境制御システム研究所所長。現在、名誉教授、審議会等委員多数歴任。著書に「Municipal Solid Waste Landfill Technology in Japan」(Springer)、「最終処分技術」(環境技術支援ネットワーク)、「浸出水処理技術ハンドブック」(環境産業新聞社)、「最終処分場の計画と設計」(日報)等多数。

8/26 (金)

1限目 10:30~11:50
2限目 12:50~14:10
3限目 14:40~16:00



1 限目講義 経営者に期待すること①

産業資源循環の課題と方向

産業廃棄物処理業が、処理の「受け手」から資源・エネルギーの「創り手」へ変貌する中、業界においては、人材の育成・確保、労働災害の防止、低炭素化の推進、災害廃棄物処理への貢献など課題が多い。課題解決に向けて業界の振興の方向を講義。

担当講師 森谷 賢 副塾長／(公社)全国産業資源循環連合会 専務理事

プロフィールは、P3の6/15講師欄をご参照ください。



2 限目講義

産業界・排出事業者②

医療廃棄物の適正処理に向けたADAMOSの取り組み

医療機関の排出事業者としての責任遂行、適正処理推進と、これに応える優良処理業者の架け橋として設立された(一社)医療廃棄物適正処理推進機構(ADAMOS)理事長の立場から、同機構の取り組み、医療機関対象の調査等からみた医療機関の廃棄物管理の現状、課題解決に向けた取り組み等について講義。

担当講師 田島 知行 (医)市川クリニック 理事長兼任院長

68年慶應義塾大学医学部卒業、72年同大学院修了。75～84年東海大学医学部専任講師。77年市川クリニック設立、院長に就任、現在に至る。現在、日本透析医学会認定医、千葉県透析医会役員、千葉県医師会顧問、日本透析医会 医療廃棄物対策部会委員を務める。医学博士、元千葉県医師会理事、元日本医師会常任理事。



3 限目講義

財務・金融①

産業廃棄物処理業者の事業承継・相続

産業廃棄物処理事業者が陥りがちな事業承継及び相続に関する諸問題について、実際に起こった事例を紹介しながら具体的な解決策を講義。自社株対策、銀行取引への対応、オーナー経営者の相続対策、事業承継税制など、産業廃棄物処理業者の事業承継を総合的に取り扱う。

担当講師 辻 賢之輔 (株)BAMC associates 代表取締役

04年同社設立。経営及び財産管理に関する総合コンサルティング業務を展開。国内3拠点(東京、札幌、名古屋)、海外(台湾)に事業所を有する。社員数50名(うち税理士・公認会計士6名)、顧客数は約1,500件。

9/9 (金)

1限目 10:30～11:50
2限目 12:50～14:10
3限目 14:40～16:00



1 限目講義

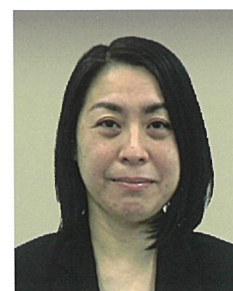
産業廃棄物処理業①

地域における当社の存在意義・役割について

地域における当社の存在意義、役割は何なのか。どんな価値を地域に提供できているのか。そのために、社内ではどのような取り組みをしているのか。当社が描く、理想とする地域社会の実現に向け取り組んでいること、取り組もうとしていることについて講義。

担当講師 五月女 大造 (株)真田ジャパン 代表取締役社長

05年(株)真田ジャパン入社。17年(株)真田ジャパン代表取締役就任。



2 限目講義

産業廃棄物技術②

産業廃棄物処理技術〈焼却・熱回収〉

廃棄物焼却施設を中心とした熱処理及び熱回収プラントの計画から運営までの経済面と技術面に関する講義。

担当講師 吉光 由美子 (株)アクトリー プラントグループ プロセス設計室室長

99年(株)アクトリームラタ(現・(株)アクトリー)入社。



3 限目講義 産業界・排出事業者③

戸田建設の廃棄物管理業務の電子化への取り組み

戸田建設では、廃棄物管理業務の効率化、コンプライアンス向上のため、マニフェスト、委託契約の電子化を推進している。建設業界において電子契約の普及率が高くない中で一定の成果を上げている、戸田建設の電子契約への取り組みについて講義。

担当講師 高橋 昌宏 戸田建設(株) 本社建築環境・品質管理部環境管理課 課長

02年戸田建設(株)東京支店入社。環境管理部にて建築施工部門における廃棄物管理に従事。03年より本社建築環境・品質管理部にて、全社の建築施工部門に係わるISO14001対応、廃棄物管理、土壌汚染対策等の環境管理業務に携わり、現在に至る。12年より日本建設業連合会・環境委員会・建築副産物部会の委員、21年より副部会長を務める。

9/22 (木)

1限目 10:30~11:50

2限目 12:50~14:10

3限目 14:40~16:00



1 限目講義 コンプライアンス②

廃棄物処理法遵守の心得

廃棄物処理法の趣旨、遵守の必要性、「行政処分の指針」、事例を中心とした欠格要件などについて廃棄物処理法を体系的に講義。

担当講師 鈴木 道夫 橋元総合法律事務所 弁護士

87年中央大学法学部法律学科卒業。88年司法試験合格。89年最高裁判所司法研修所司法修習生(第43期)。91年弁護士登録(東京弁護士会所属)。02年東京弁護士会常議員、12年最高裁判所司法研修所民事弁護教官、03年環境省アドバイザー(「特定産業廃棄物に起因する支障の除去等に関する特別措置法」に基づく実施計画案の審査に関する委嘱)、04年産業廃棄物適正処理推進センター運営協議会委員長。



2 限目講義 財務・金融②

産業廃棄物処理業者として東証一部上場までの道のり

産業廃棄物処理業者として上場を目指し、2017年に名証第二部へ上場。3年連続最短で東証第一部へ上場するまで、管理部(財務・経理・総務)管掌役員、代表取締役社長としての内部管理体制の整備や、組織再編を含めた上場に耐えうる組織経営について講義。

担当講師 加藤 恵子 (株)ミダックホールディングス 代表取締役社長

93年佐藤澄男税理士事務所(現・税理士法人名南経営)入所。01年税理士登録。02年公認会計士・税理士祖父江良雄事務所(現・デロイトトーマツ税理士法人名古屋事務所)入所。06年(株)ミダックホールディングス(現・(株)ミダック)入社、取締役経理統括部長、16年同社管理部長に就任。17年名古屋証券取引所 市場第二部へ株式上場。18年東京証券取引所 市場第二部へ上場。19年同社代表取締役に就任。東京証券取引所 市場第一部、名古屋証券取引所 市場第一部に指定。



3 限目講義 産業廃棄物処理業②

地方の廃棄物処理業者の経営展開

鳥取県は、日本で最も人口が少ない県であり、県内総生産(名目GDP)が最も小さい県である。そんな地方を拠点とし、廃棄物処理事業をどのように展開してきたのか。その歩みと地方におけるこれからの経営展開を、自社の経験に基づき講義。

担当講師 三輪 昌輝 三光(株) 代表取締役社長

94年明治大学理工学部工業化学科卒業、17年島根大学大学院生物資源科学研究科修了。94年三光(株)入社。08年取締役就任、11年専務取締役就任、18年代表取締役社長就任。主な資格:修士(生物資源科学)、学士(工学)、環境計量士(濃度)、作業環境測定士(騒音・振動、有害物質、粉じん)など。

10/14 (金)

1限目 10:30~11:50
2限目 12:50~14:10
3限目 14:40~16:00



1 限目講義 産業廃棄物技術③

産業廃棄物処理技術〈破碎・選別〉

破碎装置及び選別装置の各機種別の特徴と導入に係る機種選定のポイントや、世界の最新技術について講義。

担当講師 高野 晃 (株)リョーシン 取締役副社長

80年石川県生まれ。04年(株)リョーシン入社。客先での問題解決に最適なプラント・装置の提案及び営業員の育成を日常業務とし、能力や安全性に於いて世界最先端の技術を組込んだプランニング業務に携わる。



2 限目講義 経営者に期待すること②

リサイクル事業の新たな展開

19年4月に発足した「J&T環境」の経営方針及び事業内容の説明に併せ、リサイクル事業と電力事業のシナジー例として、食品リサイクル事業への取り組み等を講義。

担当講師 露口 哲男 J&T環境(株) 代表取締役社長

83年慶應義塾大学経済学部卒業。同年日本鋼管(株)入社。00年環境ソリューションセンター企画営業部、03年JFEホールディングス(株)環境ソリューションセンター企画部、09年エネルギー本部 エコパワー事業部長、11年常務執行役員 海外事業本部副本部長、15年常務執行役員 アクアソリューション本部長、16年専務執行役員 アクアソリューション本部長、17年専務執行役員 環境本部副本部長、18年取締役専務執行役員 リサイクル・発電事業本部長、19年J&T環境(株)代表取締役社長。



3 限目講義 コンプライアンス③

事例に学ぶ廃棄物管理【グループ討議】

担当講師 長岡 文明 BUN環境課題研修事務所 主宰

80年山形県技術吏員として入庁。09年文化環境部循環型社会推進課課長補佐を退職。03年より環境省「今後の産廃行政研究会」委員、12年より環境省「PCB廃棄物の適正保管・早期処理の推進に関する調査検討委員会」委員、05年より環境省環境調査研修所講師、(公財)日本産業廃棄物処理振興センター講習会テキスト編集委員を務める。著書に、「土日で入門、廃棄物処理法」(日環センター)、「廃棄物処理法問題集」(産環協)などがある。

10/27 (木) 28 (金)

27日:12:00集合
28日:17:00解散



秋季合宿研修【クロス・ウェーブ梅田(大阪)】

①取組事例紹介 災害廃棄物の初動について

熊本地震、西日本豪雨、佐賀県武雄大町豪雨、人吉豪雨の初動から現場に入り、様々な問題を体験した観点から、今何をすべきで、業界に何を伝えるべきかを講義。

担当講師 石坂 繁典 有価物回収協業組合石坂グループ 環境事業本部 環境事業部 部長

トヨタ・東レなどの愛知県の工場関連の保全メンテナンスや機械導入を行う会社に入社。制御盤の制作やシーケンサープログラムを行う会社に転職。現場での機械・電気技術を習得後に、弊社エコポート九州を立ち上げ、熊本地震～人吉豪雨など様々な災害現場の立ち上げ、RitaテクノロジーのイノベーターとしてAIロボットの制作等を歴任。現在、環境省の指針である地域循環共生圏やプラ新法に関わる新事業の計画を自社で担当する傍ら、メジャー企業、自治体のリサイクル施設のコンサル会社の運営も行っている。



②グループ討議ガイダンス

担当講師 岩田 元一 副塾長／(公財)産業廃棄物処理事業振興財団 専務理事

プロフィールは、P3の6/15講師欄をご参照ください。

③グループ討議(テーマ別)

11/17 (木)

1限目 10:30～11:50
2限目 12:50～14:10
3限目 14:40～16:00



1 限目講義 財務・金融③

産業廃棄物処理事業の財務

財務諸表の読み方・解き方の基本を概説し、産廃業の収集運搬・中間処理・最終処分毎に、財務諸表からみた特徴や平均像について紹介し、事業改善のポイント等について講義。

担当講師 大城 清也 大城公認会計士・税理士事務所 公認会計士・税理士

85年早稲田大学社会科学部卒業。98年(株)共栄経営研究所入社。同年公認会計士登録、大城公認会計士・税理士事務所設立。02年(公財)産業廃棄物処理事業振興財団 債務保証事業審査委員(財務担当)就任。自動車リサイクル法の制定に深くコミットするなど、環境政策における税制上の諸課題について、多方面にアドバイスを行っている。



2 限目講義 産業廃棄物処理業③

魅力あるリーダーとは

魅力あるリーダーとは、部下の立場を理解・支援することはもちろんのこと、会社をよくするためにはという経営者の視点も持って行動することが必要だと考える。基本的な考え方はもちろんのこと、ワークを交えて社内では気づいていない自分の長所や短所にも目を向け、魅力あるリーダーを目指して頂く。学生時代からサークル等のリーダーとして、100以上の部下指導を経験したからこそその失敗談や苦労話、経験談なども交えて講義。

担当講師 加藤 宣行 加藤商事(株) 代表取締役

67年東京生まれ。91年東海大学法学部法律学科卒業。同年加藤商事(株)入社、03年代表取締役就任。積極的に新卒採用を行い、組織力の強化を図る。09年(社)全国産業廃棄物連合会・青年部協議会会長就任。CO₂マイナスプロジェクトを立ち上げ、青年部のみならず、業界団体の知名度アップ及び組織力強化に尽力。17年(一社)日本PCB全量廃棄促進協会の会長に就任し、PCB廃棄物の全量廃棄に向け処理の推進を図っている。



3 限目講義 労働安全・人材活用②

産業廃棄物処理業(当社)における人財育成への取り組み

社会のインフラを支える我々の業界は、収集運搬や処分、そして関連する技術開発や事務管理業務に至るまで、全て「人」がいて成り立っている。「人を育て、人を創り、人で勝負する会社を目指す」という理念のもと、人財育成の取り組みを、当社の事例を交えて講義。

担当講師 高橋 潤 高俊興業(株) 代表取締役社長

73年生まれ。96年東洋大学経営学部商学科卒業。96年(株)フジタ入社。00年高俊興業(株)入社、15年代表取締役社長就任。現在の社外活動：(一社)廃棄物処理施設技術管理協会副会長、(一社)東京都産業資源循環協会理事、建設廃棄物委員長、(公社)全国産業資源循環連合会 業務主任者試験等準備検討委員会委員、人材育成方策調査検討会委員。

11/18

(金)

9:00~17:30

施設見学【東京スーパーエコタウン】



12/8 (木)

取組事例:10:30~11:50
グループ討議:12:50~14:50
発表:15:20~16:20

ワークショップ AI・IoT

①取組事例

異業種の事例をもとに考える! 資源循環業へのAI・IoT活用

人手不足への対策や生産性向上のカギとして注目されているAI・IoTの活用。既に利用が進んでいる分野もあるが、資源循環業においては「これから」といえる。本講義は、異業種の活用事例を調査し、それら事例を業界に活かす可能性を考えるとともに活用の道を探る。

担当講師 鈴木 貴 (株)JEMS 常務取締役

79年茨城県出身。約20年前に(株)エジソン(現・(株)JEMS)に入社。以降、処理業者向けの基幹システムの提案から導入に至るまで、営業・SE・開発・サポートと全ての工程を経験。延べ286社のシステム導入を支援し、IT技術だけでは本質的な業務改善は難しいことを実感。改善のスタートは、IT化ではなく運用の見直しからと考えている。20年事業本部取締役本部長に就任。22年1月から常務取締役に就任。

②グループ討議

③発表

12/9 (金)

1限目 10:30~11:50
2限目 12:50~14:10
3限目 14:40~16:00

1 限目講義 産業廃棄物にかかる法制度・行政②

産業廃棄物処理行政の現状と今後の展望について

我が国の産業廃棄物行政の担当部署の責任者から、廃棄物処理法の内容、PCB廃棄物処理、循環型社会の構築に向けた産業廃棄物処理業の振興方策、循環資源の越境移動への対応等について講義。

担当講師 神谷 洋一 環境省 環境再生・資源循環局廃棄物規制課長

91年環境庁(現・環境省)採用。日本環境安全事業(株)事業部事業企画課長、国土交通省自動車交通局技術安全部環境課地球温暖化対策室長、地球環境局地球温暖化対策課調整官、総合環境政策局環境影響評価課環境影響審査室長、水・大気環境局放射性物質汚染対策担当参事官、水・大気環境局土壌環境課長、同局大気環境課長などを経て、令和2年より現職。



2 限目講義 労働安全・人材活用③

過去の「ゴミ屋からの脱却」思想から安全作業を含めて、「社会に価値を提供する」業界へ

産業廃棄物処理業界の「社会的地位向上」から「社会的評価向上」へ、評論家ではなく実践者としての認識と責任。そして、行動を考える講義。

担当講師 中野 宇喬 (株)東伸サービス 代表取締役

65年愛知県生まれ。大学卒業後、アパレル輸入業に従事。90年(株)東伸サービス入社、07年代表取締役就任。業界活動として、I.P.G(Industrial waste Professional Group)「産業廃棄物専門家集団」を01年に立ち上げ(現在11社加盟)、17年から会長就任。(一社)愛知県産業資源循環協会副会長。



3 限目講義 経営者に期待すること③

「産業廃棄物処理業の認知度を高める」ブランディング戦略とは ～マイナスからプラスへ転じる「見せる五感経営」～

資源循環型社会には、産業廃棄物処理事業は必要不可欠な静脈産業である。然しながら業界は負のイメージが蔓延し、認知度が低い。多くの若者が働きたいと思える魅力ある職場創りが、持続可能な企業・業界に繋がる。「自然と人と技術」が共生する、石坂流・五感経営を講義。

担当講師 石坂 典子 石坂産業(株) 代表取締役

高校を卒業し、デザイナーを目指し米国の大学へ留学。帰国後、父親が創業した石坂産業へ入社するが「廃棄物ゼロの社会をつくりたい」という創業者の強い想いに共感し会社を継ぐことを決意する。02年に社長就任。男ばかりのいわゆる3K業界のイメージを払拭し、地域に愛される企業となるため、プラントの全天候型化、ISO7種統合マネジメントシステム導入、国内外からの視察・見学の受け入れといった数々の改革を断行。現在では年間5万人以上の来場者が石坂産業を訪れる。20年新たなビジョン「Zero Waste Design」を掲げ、再資源化率100%、ゴミがゴミにならない社会を目指し、東京ドーム4個分の敷地を誇るサステナブルフィールド「三富今昔村」で環境教育プログラムを提供している。「KAIXA Award 2019」「2020年度 日本経営品質賞」受賞。

必修

卒塾レポート提出

必修

卒塾面談 ※日程は個別に設定

令和5年

1/20 (金)

卒塾式 15:30～17:00



産業廃棄物処理業 経営塾OB会

運営／活動内容

経営塾OB会は自主的かつ独立した運営を行っており、各卒塾期の代表からなる幹事会において年間活動計画を立案し、運営しています。

主な活動としては、見学勉強会、全国の卒塾生のネットワークを活かして、業界のさらなる発展を目指す地域別ワークショップ活動や、関係省庁・団体への提言等の情報発信を行っています。

主な年間行事

- 定時総会
- 見学勉強会
- 地域別ワークショップ活動(年数回)
- 成果発表会・賀詞交歓会
- テーマ別勉強会等
- オンラインサロン

卒塾生間の連携とネットワークの強化を主として、産業廃棄物処理業の成長・発展のための行政、排出事業者等への提案・情報等を発信しています。

日 程

令和4年6月～令和5年1月(8ヵ月間)

講 義 数

25講義+合宿研修(2回)+施設見学

講 義 時 間

通常講義

1限目	10時30分～11時50分
2限目	12時50分～14時10分
3限目	14時40分～16時00分

会 場 (講義&合宿研修)

講 義 会 場



(公財)産業廃棄物処理事業振興財団内 会議室

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-1-18 ヒューリック虎ノ門ビル10階



最寄駅：東京メトロ銀座線 虎ノ門駅(9番出口)より徒歩1分
 東京メトロ千代田線・日比谷線・丸ノ内線 霞ヶ関駅より徒歩5分
 都営地下鉄三田線 内幸町駅より徒歩5分
 東京メトロ日比谷線 虎ノ門ヒルズ駅より徒歩6分
 JR線・都営浅草線 新橋駅(日比谷出口)より徒歩10分

合 宿 研 修



夏季合宿研修【ホテル プラザオーサカ】

〒532-0025 大阪府大阪市淀川区新北野1-9-15
 TEL.06-6303-1000



秋季合宿研修【クロス・ウェーブ梅田】

〒530-0026 大阪府大阪市北区神山町1-12
 TEL.06-6312-3200(代表)

第18期 産業廃棄物処理業経営塾

入塾願書

- ・本経営塾入塾審査に使用させていただきますので正確に記入してください。
- ・①会社概要の項目に社判を必ず押印してください。
- ・写真は2枚ご用意いただき、1枚は入塾願書に貼り付け、1枚は同封してください。
- ・当財団は、個人情報の取扱いに関して、個人情報保護法及び関連するその他の法令、規範の定めるところに従うとともに、内部規程に準拠して行動します。入塾願書において収集した企業情報及び個人情報は、本経営塾入塾審査以外の目的には使用しません。

記入日 西暦 年 月 日

① 会社概要

会社名

印

代表者名

本社所在地

〒

連絡先(代表)

電話

資本金

百万円

創業年

西暦

年

月

ホームページ

https://

優良認定の取得

有

無

事業内容

産業廃棄物関連の事業について

該当するものに全て✓を付けてください

- ☐ 収集運搬
- ☐ 中間処理(破碎・選別)
- ☐ 中間処理(焼却)
- ☐ 中間処理(中和)
- ☐ 中間処理(圧縮・梱包)
- ☐ 中間処理(その他)
- ☐ 最終処分

産業廃棄物関連以外の事業について

具体的な内容を記入してください

直近の売上高

百万円 (西暦 年度実績)

内、産業廃棄物関連事業の売上

百万円

直近の経常利益

百万円 (西暦 年度実績)

社員数

人 (西暦 年 月時点)

② 入塾希望者概要

氏名

フリガナ(姓)

(名)

写真(4cm×3cm)
1枚を貼り付け

他に1枚
同封してください。

生年月日・性別・役職

生年月日 西暦

年

月

日

性別 男 ・ 女

所属部署・役職

連絡先

(勤務先事業所)

住所 〒

電話

携帯電話

※日中連絡のつく連絡先をご記入ください。

E-mail

略歴

(最終学歴、現在の社内での
職歴と役職、過去の職歴等を
簡単に記入してください。)

最終学歴 西暦

年

月：

職歴

西暦

年

月：

西暦

年

月：

西暦

年

月：

現在に至る

専門分野

(産業廃棄物・環境関連)

志望動機

(出来るだけ詳しくご記入ください。)

新型コロナウイルスの対策にあたり、今年度は右記の点を従来より変更して実施いたします。



- 今年度の受講に関しては**原則、当財団会議室で対面で行います**。ただし、やむを得ない場合は、WEB受講も可能です。(WEB受講のツール手段として、Webexを用いて行います。)
- 受講時は、マスクの着用、消毒ならびに検温のご協力をお願いいたします。
- 受講中におきましても感染防止対策として、3密にならないように換気を常時行うとともに、皆様がご使用になる机や椅子につきましては随時消毒をいたします。その他、本件にかかる不明な点につきましては、当財団ホームページをご覧ください。
URL : <https://www.sanpainet.or.jp/>

募集要項

応募資格

以下のいずれかに該当する者であること。また、①及び②に該当する者が勤務する企業においては、過去5ヶ年にわたって廃棄物処理法などの法令違反に問われていないこと。

- ① 優良な産業廃棄物処理業者としての評価を得ている企業の経営者または経営の一翼を担っている者。
- ② 優良な産業廃棄物処理業者としての評価を得ている企業の技術面における統括管理者であり、産業廃棄物処理に関する技術資格を有する者。
- ③ 産業廃棄物処理業に準ずる豊富な経験を有し、今後、産業廃棄物処理業に新規参入を検討している企業において、①・②の条件に対応した要件を満たす者。
- ④ その他、本塾生として受講を認める相当の理由があるとして塾長が認めた者。

受講料

55万円(税込)

(受講料にはテキスト代、合宿研修費等が含まれています。)

申し込み方法

提出書類

入塾願書と顔写真2枚(4cm×3cm)

応募締切

令和4年**5月25日(水)**まで

定員に達し次第、締め切らせていただきます。

選考方法

当財団の審査により選考いたします。

支払方法

請求書を送付いたします。

(全額前納とし、納入後は事情によらず原則として返金はいたしません。)

入塾までの流れ

入塾願書提出

下記書類を事務局までお送りください。

1. 入塾願書
2. 顔写真2枚(4cm×3cm)

1枚は入塾願書に貼り付け、
1枚は同封してください。

入塾審査結果をご連絡いたします。

受講料の支払い

入塾者に請求書を送付いたします。期日までに受講料を指定口座にご入金ください。なお、振込手数料は貴社にてご負担ください。

入塾式の案内を送付いたします。

お問い合わせ・願書提出先

(公財)産業廃棄物処理事業振興財団

〒105-0001

東京都港区虎ノ門1-1-18

ヒューリック虎ノ門ビル10階

TEL.03-4355-0155

事務局／兼子

E-mail : jyuku@sanpainet.or.jp



公益財団法人 産業廃棄物処理事業振興財団

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-1-18 ヒューリック虎ノ門ビル10階

Tel.03(4355)0155

URL <https://www.sanpainet.or.jp>